

SGH理系 活動報告(2)

SGHアジア探究（理系）として本年度は以下の 2 講座を開設している。

今回は講座①②の双方に関わる課外活動の報告を記す。

① 構造物の強度に関する研究（SGH関連講座）物理科

② 科学技術とアジアの国々（SGH関連講座）物理科

（1）SGH講演会（地球環境と防災）

SGH 委員会協賛 北野高校 SGH 公開講座を実施した。SGH 理系講座所属の生徒の希望により、講師は京都大学名誉教授、関西大学教授、「人と防災未来センター」センター長 等を兼務されている河田教授にお願いした。

日時 10月26日（月）15時30分～17時

場所 北野高校 六稜ホール（六稜会館3階）

講師 河田 恵昭（かわたよしあき） 博士

テーマ 「アジアを中心とした途上国の防災と課題」

参加者数 約150名

あるときは生命を育み、あるときは猛威をふるう自然。あらゆる災害は太陽エネルギーや地球内部のエネルギーによって引き起こされる。宇宙の一部である人類はどのように危険から身を守ればよいのだろうか。またどのようにすれば人々を災害から守ることができるのか。地球学、都市工学や建築工学、環境問題に関心がある生徒を中心に150名近くの生徒が集まる盛況であった。参加者全員が長文の感想文を熱心に記入し提出した。



(2) 京都大学工学部地球工学科国際コース 国際インターンシップ活動報告会

Presentation session on International Internship Activities by 3rd-year students



Undergraduate International Course Program of Civil Engineering,

Faculty of Engineering, KYOTO UNIVERSITY

日時 11月7日(土) 14時半～18時半

場所 京都大学 吉田キャンパス 地球工学科校舎

参加者 20名(引率教員 1名)

北野高校の課題研究の指導をお願いしている、京都大学地球工学科主催の活動報告会に参加した。昨年と同様、専門的な地球工学、土木工学の研究に関する英語によるプレゼンテーションである。今年は昨年よりさらに発表者数が多く、どの発表も充実した内容であった。

その後、発表者である京都大学3年生の皆さんと留学生の皆さん30名との班別ミーティングを行い、大変盛況であった。東南アジア、東アジア、南米、アフリカからの多数の留学生の方々との交流は貴重な機会であった。課題研究の指導をしていただいている金哲佑教授、国際コースの藤原玲子様、また留学生、学生の方々にお世話になり、生徒たちの励みになったようすである。

京都大学の報告会でお世話になったインドネシアの留学生の方々には11月の北野高校SGH課題研究中間発表会に来ていただいた。その後、インドネシアの国内事情や防災に関しての質問会を実施し、研究に協力していただいた。SGH理系の中間発表会に留学生の方が来てくださることが直前に決定し、留学生の方に内容をお伝えできるように急遽、英語のサマリーを用意し、口頭発表は日本語と英語の両方で行った。自発的な国際交流の体験が生徒の励みになり、貴重な機会であった。